

平成22年 農作業料金・農業労賃に関する調査結果

目次

はじめに

| | |
|---------------------------------|----|
| I. 調査の概要 | 1 |
| II. 調査結果の概要 | |
| 1. 水稲作の部分・全面作業受託料金 | 2 |
| 2. オペレーター賃金 | 5 |
| 3. 農作業別臨時雇賃金 | 6 |
| 4. 農業臨時雇賃金と標準賃金との比較 | 8 |
| 5. 農業臨時雇賃金と他産業臨時雇賃金(臨時雇・パート)の水準 | 9 |
| 6. 農外諸賃金の水準 | 10 |

平成23年3月
青森県農業会議

はじめに

本調査は、昭和35年に開始し、農業の臨時雇賃金等の把握を行ってきたが、その後、農業の就業構造の変化に伴い、調査内容を改善し、稲作の作業請負料金（部分作業請負・全面作業請負）や農業経営基盤強化促進法に基づく、農作業受委託の制度化に伴う、農作業受委託料金等を調査項目に加えて充実を図ってきた。本年も青森県内40市町村農業委員会のご協力を得て、平成22年12月31日を調査時点とし、平成22年1月1日より1年間について調査した。

平成22年のオペレーター賃金は、全項目において対前年比上昇率はプラスとなっており、同様に、農作業別臨時雇賃金も、多くの項目において対前年比上昇率はプラスとなっていることから、労働力の確保の困難さがうかがえる結果となっている。

また、これらは対前年度上昇率はプラスとなっているが、一方で同上昇率が下落している他産業に比べると、その実勢賃金は少ない状況にあり、このことも労働力の確保をさらに困難にさせている一因である。

以上のように、県内の農作業料金・農業労賃は、上昇傾向がみられるものの、それは同時に、近年の厳しい農業情勢を反映した、担い手不足や雇用の確保の困難さが増しているという状況を示すものでもある。

こうした状況を打開するためにも、県内の農業就業構造ならびに、農業経営の改善等に取り組むための参考資料として、幅広く関係機関団体にご活用いただければ幸いです。

最後に、本調査にご協力いただいた市町村農業委員会に厚く御礼申し上げます。

平成23年3月

青森県農業会議

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、農作業の受託（請負）料金や農業雇用賃金、農外諸賃金の水準の把握等を通じて、農業労働力の確保調整や協定賃金の作成、他産業就業対策などの農家労働力事情など、農業就業構造ならびに農業経営の改善・近代化に貢献してきた。農業労働力事情関係の調査としては、外に類例を見ないものとして、関係方面から高い評価を得てきた。

最近の農業労働事情をめぐっては、農業就業者の高齢化、担い手不足、さらには雇用労働力の確保の困難など、新たな問題も生じてきた。これら諸事情にかんがみ、農業・農村における労働事情について、一層の把握に努め、今後、適正かつ合理的に標準（協定）賃金・料金等の作成、農業労働力確保の推進等を通じ、足腰の強い農業・農業経営の実現に資することを目的に本調査を実施した。

2. 調査の方法

- (1) 本調査は、全国農業会議所が作成した調査票にもとづき、都道府県農業会議の指導のもとに、市町村農業委員会が行った。
- (2) 調査市町村は、平成 15 年 12 月 31 日時点における全市町村(67 市町村)を対象とした。
- (3) 調査の項目
 - ① 水稲作の部分・全面作業受託料金の水準
 - ② オペレーター賃金額
 - ③ 農業臨時雇の農作業別・男女別の賃金水準
 - ④ 農作業受託料金・農業臨時雇賃金等の協定状況
 - ⑤ 市町村内の農外諸賃金の水準

3. 調査の時期および期間

平成 22 年の 12 月 31 日を調査時点とし、平成 22 年 1 月 1 日より同年 12 月 31 日までの 1 年間を調査対象とした。

II. 調査結果の概要

1. 水稲作の部分・全面作業受託料金

(1) 部分作業の受託料金（第1表）

農作業受託料金のうち、稲作関係の、部分農作業受託料金を《育苗》、《耕起》、《代かき》、《耕起～代かき(一貫)》、《機械田植(苗代別)》、《機械刈取(コンバイン)》、《刈取～乾燥・調整》、《乾燥・調整(60 kgあたり)》の各作業について、受託主体別（個人農家と生産組織）に調査したものである。

○ 《育苗》

《育苗》の県平均をみると、個人農家の場合＜稚苗＞が10aあたり20,340円（対前年比0.9%上昇）、＜中苗＞が10aあたり21,170円（同0.6%上昇）となっており、いずれも上昇している。

地域別にみると、＜稚苗＞は「上十三」が26,250円と最も高く、次いで「津軽南」が22,750円、「東青」が21,000円の順となっている。＜中苗＞は「東青」が25,400円と最も高く、次いで「西・つがる」が21,000円、「中弘」が20,717円の順となっている。

また、生産組織の育苗の県平均をみると、＜稚苗＞が10aあたり13,200円（同4.5%上昇）、＜中苗＞が10aあたり20,326円（同0.03%下落）となっている。

○ 《一貫》・《耕起》と《代かき》

《一貫（耕起～代かき）》の県平均は、個人農家が10aあたり10,526円（対前年比1.3%下落）、生産組織が10,538円（同0.2%下落）となっている。

《耕起》と《代かき》の県平均は、個人農家の場合、《耕起》は10aあたり4,895円（同0.04%上昇）、《代かき》は5,661円（同8.1%上昇）となっている。また、生産組織の場合、《耕起》は10aあたり4,920円（同0.2%下落）、《代かき》は5,529円（同0.4%下落）となっており、《耕起》、《代かき》ともに、前年度に比べ、個人農家では上昇、生産組織では下落となっている。

○ 《機械田植(苗代別)》

《機械田植》の県平均をみると、個人農家が10aあたり5,878円（対前年比0.3%下落）、生産組織では5,745円（同5.5%上昇）となっている。

○ 《機械刈取(コンバイン)》

《機械刈取（コンバイン）》の県平均を見ると、個人農家は10aあたり12,356円（対前年比0.2%下落）、生産組織では12,174円（同2.3%上昇）となっている。

○ ≪刈取～乾燥・調整≫

≪刈取～乾燥・調整≫の一貫収穫作業の県平均をみると、個人農家は10aあたり29,887円(対前年比0.3%下落)、生産組織は27,429円(同0.3%下落)といずれも下落している。

○ ≪乾燥・調整(60kgあたり)≫

≪乾燥・調整≫の県平均をみると、個人農家は60kgあたり1,458円(対前年比0.7%上昇)、生産組織は1,500円(同0.1%下落)となっている。

第1表 水稲作部分作業受託料金

(単位:円/10aあたり)

| | | | 県平均 | 郡市別 | | | | | | | |
|-----------------------|-----|-----------------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | 東青 | 西つがる | 中弘 | 津軽南 | 北五 | 上十三 | 下北 | 三八 |
| 育苗 (種子代含) | 稚苗 | 個人 | 20,340 (0.9) | 21,000 | 0 | 20,245 | 22,750 | 15,000 | 26,250 | 0 | 0 |
| | | 組織 | 13,200 (4.5) | 0 | 0 | 13,200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 中苗 | 個人 | 21,170 (0.6) | 25,400 | 21,000 | 20,717 | 20,425 | 18,000 | 20,675 | 0 | 20,429 |
| | | 組織 | 20,326 (△0.0) | 0 | 0 | 15,525 | 20,270 | 0 | 20,350 | 0 | 21,578 |
| 耕起 から 代かき まで | 一貫 | 個人 | 10,526 (△1.3) | 12,720 | 11,000 | 10,904 | 10,288 | 11,286 | 7,857 | 10,833 | 9,758 |
| | | 組織 | 10,538 (△0.2) | 13,863 | 0 | 12,125 | 10,100 | 0 | 8,595 | 10,000 | 9,250 |
| | 耕起 | 個人 | 4,895 (0.0) | 6,354 | 4,613 | 5,036 | 4,938 | 4,325 | 3,500 | 5,900 | 4,975 |
| | | 組織 | 4,920 (△0.2) | 7,350 | 5,200 | 5,095 | 4,720 | 0 | 3,548 | 7,000 | 4,500 |
| | 代かき | 個人 | 5,661 (8.1) | 6,062 | 7,313 | 4,611 | 5,100 | 5,625 | 4,625 | 6,338 | 5,500 |
| | | 組織 | 5,529 (△0.4) | 8,925 | 7,000 | 5,334 | 4,680 | 0 | 4,500 | 8,000 | 5,000 |
| 機械田植 (苗代別) | 個人 | 5,878 (△0.3) | 6,092 | 5,550 | 6,414 | 5,525 | 5,643 | 5,975 | 7,100 | 5,550 | |
| | 組織 | 5,745 (5.5) | 6,438 | 5,700 | 5,322 | 5,750 | 0 | 6,000 | 8,000 | 5,000 | |

| | | 県平均 | 郡 市 別 | | | | | | | |
|---------------------|----|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 東 青 | 西・つがる | 中 弘 | 津軽南 | 北 五 | 上十三 | 下 北 | 三 八 |
| コンバイン | 個人 | 12,356 (△0.2) | 13,477 | 11,625 | 15,461 | 15,375 | 11,286 | 10,583 | 11,143 | 12,418 |
| | 組織 | 12,174 (2.3) | 12,200 | 0 | 14,956 | 13,600 | 9,000 | 11,040 | 9,000 | 11,150 |
| 刈取～乾燥・調整 | 個人 | 29,887 (△0.3) | 49,794 | 25,067 | 28,347 | 33,457 | 23,000 | 23,658 | 9,800 | 26,197 |
| | 組織 | 27,429 (△0.3) | 29,175 | 0 | 32,000 | 28,560 | 24,000 | 26,660 | 0 | 25,905 |
| 乾燥・調整 (60 kg当たり) | 個人 | 1,458 (0.7) | 1,228 | 1,600 | 1,614 | 1,786 | 1,560 | 1,269 | 800 | 1,464 |
| | 組織 | 1,500 (△0.1) | 1,533 | 0 | 1,813 | 1,432 | 1,400 | 1,575 | 0 | 1,520 |

※ 表中の「個人」は個人農家、「生産」は生産組織

()内は対前年比上昇率 (%) [△は下落、小数点第2位以下は四捨五入]

(2) 全面作業の受託料金 (第2表)

稲作の農作業の全面受託料金は、種籾・除草剤・肥料・農薬代などの生産資材をすべて受託者が負担する「生産資材費込み(以下「込み」)」のものと、生産資材を委託者が負担する「生産資材費別(以下「別」)」に区分し、さらに個人農家と生産組織に分けて調査した。

- 個人農家: 「込み」は、10aあたり78,940円(対前年比5.2%上昇)、「別」は48,998円(同3.8%上昇)となっており、いずれも上昇している。
- 生産組織: 「込み」は、10aあたり74,587円(対前年比3.2%上昇)、「別」は41,811円(同4.1%上昇)となっており、こちらもいずれも上昇している。

※ なお、全面農作業の受託料金については、回答市町村数が少ないことから(28市町村数)、事例的なものとして、参考にしていただければ幸いである。

第2表 水稻作全面作業受託料金

(単位: 円/10aあたり)

| | | 回答市町村数 | 料 金 |
|-----------------|-------|--------|-----------------|
| 種籾・除草剤・肥料・農薬代込み | 個人農家 | 17 | 78,940 (5.2) |
| | 生産組織等 | 7 | 74,587 (3.2) |
| 種籾・除草剤・肥料・農薬代別 | 個人農家 | 27 | 48,998 (3.8) |
| | 生産組織等 | 11 | 41,811 (4.1) |

※ ()内は対前年比上昇率 (%) [△は下落、小数点第2位以下は四捨五入]

2. オペレーター賃金

(1) オペレーター賃金 (第3表)

オペレーターの賃金は、「トラクター」、「田植機」、「コンバイン」の各オペレーターの純然たる労働賃金のみを、1日(8時間)あたりで、調査したものである。

県平均では、「コンバイン」が8,431円(対前年比0.2%上昇)で最も高く、次いで「田植機」が8,298円(同0.9%上昇)、「トラクター」が8,165円(同1.5%上昇)の順となっている。

第3表 オペレーター賃金

(単位：円／1日〔8時間〕あたり)

| | 県平均 | 郡 市 別 | | | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-----|-------|
| | | 東 青 | 西・つがる | 中 弘 | 津軽南 | 北 五 | 上十三 | 下 北 | 三 八 |
| トラクター | 8,165 | 8,000 | 7,833 | 8,013 | 7,686 | 8,000 | 10,333 | 0 | 8,367 |
| | (1.5) | | | | | | | | |
| 田植機 | 8,298 | 9,600 | 7,833 | 8,128 | 7,633 | 8,000 | 10,333 | 0 | 8,367 |
| | (0.9) | | | | | | | | |
| コンバイン | 8,431 | 12,000 | 7,833 | 8,116 | 7,686 | 8,000 | 10,333 | 0 | 8,367 |
| | (0.2) | | | | | | | | |

※ ()内は対前年比上昇率(%) [△は下落、小数点第2位以下は四捨五入]

(2) オペレーター賃金と農外諸賃金との比較 (第4表)

トラクターのオペレーター賃金を(100)とした場合、農外諸賃金(男子)は、「大工」148、「左官」139、「土木工」102、「造林」120、「伐出」132という指数になり、オペレーター賃金が農外諸賃金に比べ、低い水準となっている。

第4表 オペレーター賃金と農外諸賃金(男子)との比較

(単位：円／1日〔8時間〕あたり)

| | オペレーター賃金 | | 農 外 諸 賃 金 | | | | |
|-----|----------|-------|-----------|--------|--------|--------|--------|
| | トラクター | コンバイン | 大 工 | 左 官 | 土 木 工 | 造 林 | 伐 出 |
| 県平均 | 8,165 | 8,431 | 12,086 | 11,314 | 8,308 | 9,763 | 10,813 |
| | (1.5) | (0.2) | (△2.6) | (△3.2) | (△0.0) | (△0.1) | (△1.7) |
| 指数 | 100 | 103 | 148 | 139 | 102 | 120 | 132 |

※ 指数：トラクターのオペレーター賃金を(100)とした場合

()内は対前年比上昇率(%) [△は下落、小数点第2位以下は四捨五入]

3. 農作業別臨時雇賃金（第5表）・（第6表）

個々の経営体の需要に応じた労働力の需給調整対策の充実や、質・量ともに兼ね備えた労働力の確保調整をはじめ、地域の実態に即した臨時雇賃金の適正な水準形成に向けて、県内の農作業臨時雇賃金の1日当たりの実勢賃金を調査し、第5表にまとめた。

1日あたりの実勢賃金の県平均を作業別にみると、農作業一般の中でも、熟練度が求められる「専門作業」は男子が7,151円（対前年比2.4%上昇）、女子が6,482円（同1.3%上昇）となっており、いずれも上昇している。「一般・軽作業」は男子が5,425円（同1.3%下落）、女子が5,355円（同0.9%下落）となっており、こちらはいずれも下落している。

また、具体的作業のうち、水稲では「機械作業補助」は男子が5,332円（同8.4%下落）、女子が5,592円（同0.7%上昇）、「田植」は男子が5,608円（同0.3%上昇）、女子が5,547円（同0.5%上昇）「稲刈」は男子が5,712円（同0.2%上昇）、女子が5,577円（同0.2%上昇）となっている。

また、同じく具体的作業のうち、りんごでは「剪定」は男子が8,590円（同1.6%上昇）、女子が8,130円（同0.1%上昇）、「摘果」は男子が5,514円（同0.7%上昇）、女子が5,303円（同同率）、「収穫」は男子が5,535円（同0.4%上昇）、女子が5,326円（同2.9%上昇）となっており、男女ともに全ての項目において上昇している。

第5表 農業臨時雇賃金の1日あたりの実勢賃金

（単位：円／1日〔8時間〕あたり）

| | | 県平均 | 郡 市 別 | | | | | | | | | |
|---|-----------------------------|----------------------|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | 東 青 | 西・つがる | 中 弘 | 津軽南 | 北 五 | 上十三 | 下 北 | 三 八 | | |
| 男 | 農作業 一 般 | 専門作業 (2.4) | 7,151 | 9,250 | 5,700 | 0 | 7,013 | 7,380 | 7,175 | 6,000 | 7,329 | |
| | | 一般・ 軽作業 (△1.3) | 5,425 | 5,424 | 5,188 | 5,635 | 5,425 | 5,571 | 5,538 | 5,180 | 5,480 | |
| | うち 具 体 的 作 業 | 水 稲 | 機械作業 補 助 (△8.4) | 5,332 | 5,850 | 5,217 | 0 | 6,029 | 5,733 | 6,060 | 3,355 | 5,686 |
| | | | 田 植 (0.3) | 5,608 | 5,850 | 0 | 5,523 | 0 | 0 | 6,100 | 4,900 | 5,600 |
| | | | 稲 刈 (0.2) | 5,712 | 5,900 | 0 | 5,802 | 0 | 0 | 5,500 | 0 | 5,600 |
| | | りん ご | 剪 定 (1.6) | 8,590 | 0 | 8,033 | 8,847 | 9,250 | 8,575 | 0 | 0 | 8,300 |
| | | | 摘 果 (0.7) | 5,514 | 5,500 | 5,217 | 5,729 | 5,838 | 5,200 | 0 | 0 | 5,440 |
| | | | 収 穫 (0.4) | 5,535 | 5,500 | 5,217 | 5,766 | 5,838 | 5,200 | 6,000 | 0 | 5,440 |

| | | 県平均 | 郡 市 別 | | | | | | | | | |
|---|-----------------|------------|-----------------|----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | 東 青 | 西・つがる | 中 弘 | 津軽南 | 北 五 | 上十三 | 下 北 | 三 八 | | |
| 女 | 農作業 一般 | 専門作業 | 6,482 (1.3) | 9,000 | 5,200 | 0 | 5,940 | 6,500 | 6,663 | 5,500 | 6,000 | |
| | | 一般・ 軽作業 | 5,355 (△0.9) | 5,244 | 5,171 | 5,456 | 5,375 | 5,571 | 5,742 | 4,943 | 5,209 | |
| | うち 具体的 作業 | 水 | 機械作業 補助 | 5,592 (0.7) | 5,700 | 5,200 | 0 | 5,617 | 5,840 | 5,840 | 5,480 | 5,425 |
| | | | 田 植 | 5,547 (0.5) | 5,900 | 0 | 5,437 | 5,600 | 0 | 0 | 4,900 | 5,600 |
| | | 稲 | 稲 刈 | 5,577 (0.2) | 5,950 | 0 | 5,350 | 5,600 | 0 | 5,500 | 0 | 5,600 |
| | | | りんご | 剪 定 | 8,130 (0.1) | 0 | 8,000 | 8,700 | 0 | 8,000 | 0 | 0 |
| | | 摘 果 | | 5,303 (0.0) | 5,500 | 5,200 | 5,575 | 5,438 | 5,200 | 0 | 0 | 5,140 |
| | | 収 穫 | | 5,326 (2.9) | 5,500 | 5,200 | 5,599 | 5,438 | 5,200 | 6,000 | 0 | 5,140 |

※ ()内は対前年比上昇率(%) [△は下落、小数点第2位以下は四捨五入]

また、1日当たりの実勢賃金の男子と女子を比較したものを、第6表にまとめた。これを見ると、すべての作業において、男女間に格差がみられ、「機械作業補助」を除くすべての作業の実勢賃金で、女子が男子を下回っている。

第6表 1日当たりの実勢賃金の男女間格差(男子を100とした場合の女性の指数)

| | 専門作業 | 一般・ 軽作業 | 機械作業 補 助 | 田 植 | 稲 刈 | り ん ご | | |
|-------|------|------------|-------------|-----|-----|-------|-----|----|
| | | | | | | 剪定 | 摘果 | 収穫 |
| 昭和62年 | 89 | 94 | | 95 | 95 | | 97 | 97 |
| 63年 | 90 | 93 | | 95 | 94 | | 98 | 98 |
| ~ | ~ | ~ | ~ | ~ | ~ | ~ | ~ | ~ |
| 18年 | 88 | 96 | 88 | 99 | 81 | 87 | 100 | 99 |
| 19年 | 86 | 96 | 95 | 104 | 104 | 88 | 97 | 98 |
| 20年 | 85 | 96 | 97 | 104 | 101 | 93 | 97 | 98 |
| 21年 | 92 | 98 | 96 | 99 | 98 | 96 | 97 | 94 |
| 22年 | 91 | 99 | 105 | 99 | 98 | 95 | 96 | 96 |

4. 農業臨時雇賃金と標準賃金との比較 (第7表)

市町村農業委員会では、農業労働力の需給調整や、農業経営の合理化などを図る観点から、近隣市町村や農協等との連携のもとに農作業及び請負などの標準額(協定賃金)を策定している。

その標準額(協定賃金)と本調査結果の農業臨時雇賃金を比較したものを第7表にまとめた。作業別に県平均を見ると、「水田一般」の臨時雇賃金が7,340円で、標準額の138%と高い割合となっている。次いで「稲刈」が5,712円で同108%、「果樹一般」が5,525円で同107%の順となっている。

地域別に見ると、《西・つがる》の「水田一般」が臨時雇賃金10,000円で、標準額の194%と約2倍近い割合となっているが、これは機械持ち込みの草刈作業を含むためである。また、《下北》、《津軽南》においても「水田一般」がそれぞれ同128%、118%と高い割合を示している。

第7表 農業臨時雇賃金と標準賃金

(単位：円／1日〔8時間〕あたり)

| | | 県平均 | 郡 市 別 | | | | | | | |
|------------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | 東 青 | 西・つがる | 中 弘 | 津 軽 南 | 北 五 | 上 十 三 | 下 北 | 三 八 |
| 田 植 | 臨時雇賃金 | 5,608 | 5,850 | 0 | 5,523 | 0 | 0 | 6,100 | 4,900 | 5,600 |
| | 標準額 | 5,331 | 5,485 | 5,100 | 5,150 | 5,075 | 5,400 | 5,827 | 5,120 | 5,145 |
| | 指数 | 105 | 107 | 0 | 107 | 0 | 0 | 105 | 96 | 109 |
| 稲 刈 | 臨時雇賃金 | 5,712 | 5,900 | 0 | 5,802 | 0 | 0 | 5,500 | 0 | 5,600 |
| | 標準額 | 5,309 | 5,460 | 5,100 | 5,075 | 5,075 | 5,400 | 5,810 | 5,120 | 5,145 |
| | 指数 | 108 | 108 | 0 | 114 | 0 | 0 | 95 | 0 | 109 |
| 水 田 一 般 | 臨時雇賃金 | 7,340 | 0 | 10,000 | 5,509 | 6,000 | 5,800 | 5,500 | 6,500 | 5,100 |
| | 標準額 | 5,325 | 5,227 | 5,163 | 5,100 | 5,067 | 5,529 | 5,810 | 5,083 | 5,100 |
| | 指数 | 138 | 0 | 194 | 108 | 118 | 105 | 95 | 128 | 100 |
| 畑 一 般 | 臨時雇賃金 | 5,425 | 5,424 | 5,188 | 5,635 | 5,425 | 5,571 | 5,538 | 5,180 | 5,480 |
| | 標準額 | 5,259 | 5,177 | 5,163 | 5,100 | 5,075 | 5,400 | 5,677 | 5,083 | 5,109 |
| | 指数 | 103 | 105 | 100 | 110 | 107 | 103 | 98 | 102 | 107 |
| 果 樹 一 般 | 臨時雇賃金 | 5,525 | 5,500 | 5,217 | 5,747 | 5,838 | 5,200 | 6,000 | 0 | 5,440 |
| | 標準額 | 5,162 | 5,280 | 5,100 | 5,075 | 5,075 | 5,100 | 6,000 | 0 | 5,100 |
| | 指数 | 107 | 104 | 102 | 113 | 115 | 102 | 100 | | 107 |
| 剪 定 | 臨時雇賃金 | 8,590 | 0 | 8,033 | 8,847 | 9,250 | 8,575 | 0 | 0 | 8,300 |
| | 標準額 | 8,174 | 8,000 | 8,000 | 8,375 | 8,188 | 8,100 | 0 | 0 | 8,240 |
| | 指数 | 105 | 0 | 100 | 106 | 113 | 106 | | | 101 |

※ 標準額は市町村農業委員会等が策定した額の平均

指数：それぞれ標準額を(100)とした場合

「果樹一般」の農業臨時雇賃金は、摘果・収穫の両賃金の平均

5. 農業臨時雇賃金と他産業臨時雇賃金(臨時雇・パート)の水準 (第8表)・(第9表)

市町村ならびに、近郊(通勤可能範囲)における、他産業臨時雇賃金(臨時雇・パート)の水準の県平均を、男女ごとにみると、男子の1日(8時間)あたりの賃金平均額は、「建設業」が8,052円(対前年比2.0%下落)と最も高く、次いで「サービス業」が6,025円(同0.03%下落)、「製造業」が5,979円(同0.8%下落)の順となっている。

一方、女子の1日(8時間)あたりの賃金平均額は、「建設業」が6,805円(同3.5%上昇)と男子同様最も高く、次いで「公的勤務」が5,736円(同1.2%上昇)、「サービス業」が5,525円(同1.2%下落)の順となっている。

地域別にみても、「東青」はじめ、多くの地域で、県平均同様、「建設業」が最も高い賃金額となっている。

第8表 他産業臨時雇賃金(臨時雇・パート)

(単位：円／1日〔8時間〕あたり)

| | 県平均 | 郡 市 別 | | | | | | | | |
|---|---------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 東 青 | 西・つがる | 中 弘 | 津軽南 | 北 五 | 上 十 三 | 下 北 | 三 八 | |
| 男 | 公 的 勤 務 | 5,791 (△0.1) | 5,828 | 5,633 | 6,075 | 5,996 | 5,417 | 5,804 | 6,029 | 5,656 |
| | 建 設 業 | 8,052 (△2.0) | 9,400 | 0 | 7,042 | 7,550 | 8,143 | 7,986 | 7,929 | 8,280 |
| | 製 造 業 | 5,979 (△0.8) | 5,532 | 0 | 5,944 | 5,991 | 5,283 | 6,432 | 6,840 | 5,735 |
| | 卸・小売業 | 5,772 (0.3) | 5,553 | 0 | 5,850 | 5,790 | 5,175 | 6,422 | 6,200 | 5,311 |
| | サービス業 | 6,025 (△0.0) | 5,400 | 0 | 5,775 | 6,448 | 5,000 | 6,383 | 6,200 | 6,032 |
| 女 | 公 的 勤 務 | 5,736 (1.2) | 5,715 | 5,633 | 5,575 | 5,996 | 5,417 | 5,804 | 6,029 | 5,615 |
| | 建 設 業 | 6,805 (3.5) | 8,600 | 0 | 5,833 | 7,029 | 6,929 | 6,523 | 5,929 | 6,880 |
| | 製 造 業 | 5,411 (△0.9) | 5,470 | 0 | 5,000 | 5,416 | 5,283 | 5,539 | 5,200 | 5,525 |
| | 卸・小売業 | 5,431 (△0.2) | 5,489 | 0 | 4,960 | 5,618 | 5,175 | 5,713 | 5,230 | 5,309 |
| | サービス業 | 5,525 (△1.2) | 5,150 | 0 | 4,960 | 6,108 | 5,000 | 5,671 | 5,425 | 5,585 |

※ ()内は対前年比上昇率(%) [△は下落、小数点第2位以下は四捨五入]

次に、農作業の「田植」賃金を基準(100)とした場合の、農業臨時雇賃金と他産業臨時雇賃金を比較したものを、第9表にまとめた。

男女別にみると、男子では、「田植」が5,608円となっており、それに対して「建設業」が8,052円で指数が144と最も高く、次いで「専門作業」が7,151円で指数は128、「サービス業」が6,025円、「製造業」が5,979円でそれぞれ指数は107の順となっている。

一方女子では、「田植」が5,547円となっており、それに対して「建設業」が6,805円で指数が123と最も高く、次いで「専門作業」が6,482円で指数は117、「公的勤務」が5,736円で指数は103となっている。

また、全体をみてみると、男女ともに農作業臨時雇賃金の「専門作業」は、他産業臨時雇賃金の「製造業」を除くすべての業種の平均額を上回っている。

第9表 農業臨時雇賃金と他産業臨時雇賃金との比較

(単位：円／1日〔8時間〕あたり)

| | | 農業臨時雇賃金 | | | 他産業臨時雇賃金 | | | | |
|---|------|---------|-------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|
| | | 田植 | 専門作業 | 一般・軽作業 | 公的勤務 | 建設業 | 製造業 | 卸・小売業 | サービス業 |
| 男 | 県平均 | 5,608 | 7,151 | 5,425 | 5,791 | 8,052 | 5,979 | 5,772 | 6,025 |
| | 対前年比 | (0.3) | (2.4) | (△1.3) | (△0.1) | (△2.0) | (△0.8) | (0.0) | (△0.0) |
| | 指数 | 100 | 128 | 97 | 103 | 144 | 107 | 103 | 107 |
| 女 | 県平均 | 5,547 | 6,482 | 5,355 | 5,736 | 6,805 | 5,411 | 5,431 | 5,525 |
| | 対前年比 | (0.5) | (1.3) | (△0.9) | (1.2) | (3.5) | (△0.9) | (△0.2) | (△1.2) |
| | 指数 | 100 | 117 | 97 | 103 | 123 | 98 | 98 | 100 |

※ 指数：農作業臨時雇賃金の「田植」を(100)とした場合

6. 農外諸賃金の水準 (第10表)

市町村ならびに近郊(通勤可能範囲)での、農外諸賃金「大工」、「左官」、「土木工」、「造林」、「伐出」の1日(8時間)あたりの賃金(男子)を第10表にまとめた。

農外の職種別賃金の県平均をみると、「大工」が12,086円(対前年比2.6%下落)と最も高く、次いで「左官」が11,314円(同3.2%下落)、「伐出」が10,813円(同1.7%下落)となっている。また、昨年に引き続き、すべての職種において、対前年度比上昇率が下落するという結果になっている。

第10表 農外諸賃金の水準（男）

（単位：円／1日〔8時間〕あたり）

| | 県平均 | 郡 市 別 | | | | | | | |
|-------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 東 青 | 西・つがる | 中 弘 | 津 軽 南 | 北 五 | 上 十 三 | 下 北 | 三 八 |
| 大 工 | 12,086 (△2.6) | 14,900 | 11,900 | 11,875 | 12,250 | 13,071 | 10,433 | 12,125 | 12,115 |
| 左 官 | 11,314 (△3.2) | 13,100 | 12,100 | 11,875 | 10,500 | 11,857 | 10,256 | 11,500 | 11,478 |
| 土 木 工 | 8,308 (△0.0) | 9,100 | 8,900 | 7,363 | 8,250 | 8,571 | 7,733 | 9,143 | 8,258 |
| 造 林 | 9,763 (△0.1) | 9,250 | 7,000 | 10,417 | 9,500 | 8,667 | 8,643 | 9,429 | 11,341 |
| 伐 出 | 10,813 (△1.7) | 10,000 | 10,000 | 13,000 | 10,250 | 9,667 | 9,750 | 10,667 | 12,159 |

※（ ）内は対前年比上昇率（％）〔△は下落、小数点第2位以下は四捨五入〕